



土幌町国民健康保険病院
院長 藤原 大輔

スズメバチとアナフィラキシー

こんにちは。いつも土幌町国民健康保険病院の運営にご理解とご協力をいただきありがとうございます。今回は「スズメバチとアナフィラキシー」についてお話しします。

■ 蜂刺傷と痛みの理由

蜂に刺されることを医学用語では「蜂刺傷（はちししょう）」といいます。刺されたときの強い痛みは、蜂毒に含まれるセロトニンが原因の一つです。特にチャイロスズメバチはセロトニンの濃度が高いため最も痛いといわれています。

■ アナフィラキシーとは？

蜂刺傷で最も注意が必要なのがアナフィラキシーと呼ばれる強いアレルギー反応です。全身の発赤やじんましん、呼吸困難、吐き気や腹部の不快感が特徴的な症状です。消化器症状（吐き気や腹痛）が出る場合は特に警戒が必要で、早急に医療機関を受診することが推奨されます。

さらに重症化するとアナフィラキシーショックという状態になり、血圧低下や意識消失、不整脈、最悪の場合は死に至ることがあります。蜂刺傷による死亡例は日本では年間10～20人程度報告されています。蜂刺傷後にアナフィラキシーを起こす確率は、一般人口で約0.3～0.8%（平均0.5%程度）と比較的まれです。しかし、養蜂家や林業、農作業従事者など蜂に刺されるリスクが高い職業では2～5%程度に上昇します。また、アナフィラキシーの発生割合は蜂の種類によって異なり、アシナガバチが約60～70%、スズメバチが約20～30%、ミツバチが数%とされ、どの蜂に刺されても注意が必要です。

■ 応急処置と病院での対応

刺された直後の応急処置としては、次の対応が有効です。

- ・流水で洗いながら毒を押し出す
- ・ 刺された部位を氷で冷やす

医療機関では、主に次の治療が行われます。

- ・ 炎症を抑えるステロイド軟膏
- ・ 抗ヒスタミン薬の点滴
- ・ アナフィラキシー時のアドレナリン注射



■ エピペンとは？

エピペン（アドレナリン自己注射薬）は、アナフィラキシーが起きた際に自分で太ももに注射し、症状を一時的に抑える薬です。呼吸困難や血圧低下を改善し、救急搬送までの時間を稼ぐ「命を守る緊急用医薬品」といえます。過去にアナフィラキシーを起こしたことがある方や、山林作業・農作業などで蜂に刺されるリスクが高く、病院までの距離が遠い方には、医師の判断で処方されることがあります。ただ、エピペンはあくまで「応急処置用」であり、使用後は必ず救急要請や病院受診が必要です。

● まとめ

蜂刺傷のほとんどは軽症ですが、少数ながら命に関わるアナフィラキシーが起きることがあります。刺された後に「吐き気」「腹痛」「全身の赤み」「呼吸困難」が出た場合は迷わず医療機関を受診してください。



◀ 国民健康保険病院ホームページ（休診情報等はこちらにも掲載しています）
お電話でのお問い合わせは ☎5-2106 まで